



～修学旅行の思い出～



印藤 晴子

仏教の高校でしたので、修学旅行は京都・奈良のお寺巡りでした。あまりの数の多さに、お寺の名前と景色が一致しないままです(苦笑)。うちのスタッフにも、笑える修学旅行の思い出がありそうですよ。



高校の修学旅行で北海道へ行き、初めてのスキーを体験しました。しかし、私の班のコーチは怖くて厳しく、全く笑わない人でした。おかげで私たちは萎縮したまま最終日を迎えました。そんな中、最後にコーチと班員全員で乗っていたゴンドラが揺れ、よけた私は座っているコーチの上ののっかり、だっこされるというアクシデントが！みんなが凍りつきましたが、その時コーチが初めて笑ってくれました。最後の最後にみんなの心がなごんだ思い出です。



東 恵美

佐賀出身の重富です。高校2年の夏に、修学旅行で京都と奈良へ行きました。京都の街は暑かったですね。でも観光地のことあまり覚えてないんです。実はその年、佐賀商業高校が夏の甲子園で優勝しました。移動中のバスの中でずっとテレビをつけて、みんなで応援してたんです。佐賀商に進んだ友達が活躍する姿を見て、大喜びしていた思い出だけが残っています(笑)。



重富 幸治郎

中学の修学旅行で、京都と奈良へ行きました。奈良のシカ公園で記念撮影をしたのですが、背が低い私は最前列の端です。シカが私のところへやってきて触るので、怖くてよけると、撮影が中断されてしまい(汗)。結局、シカがいなくなって、私が真っ直ぐ立ってるまで、カメラマンとクラス全員を待たせたという、何とも申し訳ない思い出があります(笑)。



古賀 ちはる

私も高校の修学旅行でスキーを初体験したのですが、長野の山奥で出会ったコーチはとてつもなくイケメンで、グループ全員の目がハートになりました。数日間のし烈な競争の末、私はめでたく記念撮影でコーチの隣りをゲットしましたが、しかし！旅行から帰って、出来上がった写真を見ると、そんなにイケメンでもなかったのです。人間って環境に左右される生き物なんですね(笑)。



重松 順子

古賀ちはるの旬なハナシ

今月はお月見を楽しむお話を。満月を鑑賞する習慣は、中国から平安貴族に伝わり、やがて庶民に広まりました。特に旧暦8月15日のお月見は豊穡に感謝する意味もあり、団子や里芋、ススキや秋の七草などを供えました。だから「中秋

の名月」のほか「芋名月」とも呼ばれます。今年の中秋の名月は9月19日。日本では満月にうさぎの餅つきが見えると言われますが、海外では魔女とか蟹とか…。あなたはお月様に何が見えるでしょうか？



私たちは、皆さまを新たな発展と飛躍へ導く“翼”となります。

さらなる付加価値



暦の上では処暑から白露へと移り変わり、暑さもようやく峠を超えた感が致します。これからの時期、夏の疲れが出やすい頃です。どうぞ十分な休息と栄養を摂り、ご自分をいたわっていただければ、と思います。

全国のニュースでも取り上げられましたが、ORTICの所在地である福岡は平均気温が30.0℃と、沖縄を超えて全国で最も暑さのきびしい都市になりました。また最高気温も37.9℃を記録したようです。体温より高い気温は、人生初の経験でした。

さて、昨年より進めておりました新商品を11月に発売することになりました。我が社のロングセラー商品で

ある「梅肉黒酢」に新たな仲間が加わります。

健康食品にはその時期の流行がありますが、ORTICはそうした流行に流されず、いつも「健康長寿」を開発のテーマにした商品をつくっていきたいと思います。今回の新商品も、心身ともにはつらつとした活力のある毎日、年齢不詳、究極のアンチエイジングなどなどの想いを込めた製品に仕上げたつもりです。

安全で裏づけのある素材、体感できる商品という軸を変えることのないよう、心して進んでいきたいと思ひます。

株式会社ORTIC
代表取締役
印藤 晴子





言葉づかい、大丈夫ですか?

電話の受け方、かけ方編



前回、職場で使う敬語について解説したところ、たくさんの方から「言葉づかいを見直すきっかけになった」とのお声をいただきました。そこで今回は、電話での言葉づかいとマナーについて考えてみます。

電話を受ける時

「失礼ですが…」は、それこそ失礼。

相手が名前を名乗らなかった時は「失礼ですが、どちら様でしょうか?」、会社名も名前も聞いたことがない時は「失礼ですが、どのようなご用件でしょうか?」と尋ねます。ただし「失礼ですが…」で言葉を止めるのは最も失礼にあたるので、要注意!

「折り返し…」は“すぐ”の意味。

「折り返し、ご連絡します」はよく使う言葉ですが、「折り返し」は“すぐ”という意味を含みます。すぐにかかけ直せないなら「改めてお電話致します」と言いましょう。

伝言を受ける時のマナー

「よろしかったら、ご伝言を承りますが」で始まり、聞き終わったら「確認させていただきます」で復唱、「～でございますね?」と確認。「私、〇〇と申します。たしかに承りました。担当者に申し伝えます」で締めます。最後に「お電話ありがとうございました」と添えると完璧です。



重富幸治郎の
お仕事
ワンポイント

電話対応は難しいですね。僕は先日「印藤様にお話させていただいた件で…」と言われて取り次いだら、全く面識のない相手だったことがありました。ネット

で社長の名前を調べていたんですね。失礼のないように用件を確かめる電話対応、これからの課題です。



電話をかける時

長くなりそうな用件は、最初に予告。

用件が多い時は、内容をメモしてから電話をかけます。「長くなりそうなのですが」「用件が〇件あります」と最初に断りましょう。あらかじめ関係資料をFAXやメールで送っておくのもいい方法。できるだけムダを省き、相手を気遣うことが大切です。

切る前に、心の中で2、3秒。

電話はかけた方から切るのがマナー。ただし、話し終えてすぐ切らず、心の中で2、3秒数えるくらいの間をとって受話器を静かに置くのがベスト。また、電話を切りながら、社内の会話を始める人もいますが、相手に聞こえると失礼なのでやめましょう。

携帯電話にかける時のマナー

「携帯電話におかけして失礼します。今お話ししてもよろしいでしょうか?」を忘れずに。ビジネスでは固定電話が基本。携帯電話は周囲の人に通話内容が聞こえてしまいますから、企業名や個人名、込み入った内容などは話さず、結論だけを伝えましょう。



それ、ウソです

丸山寛之

第70回

「風」の誤解

問 痛い風と書いて、痛風といいますね。これはどういう意味なのでしょう。

答 読んで字の如く、この病気になると、風がサッと当たるだけでも痛いのです。(西岡久寿樹 痛風 = 『病気とからだの読本』1=暮しの手帖社)

風が当たるだけでも痛いから痛風、あるいは、風が吹いても痛いから痛風。これはまあ、じつによく耳にする俗説で、もっともらしいけど、ウソである。

『広辞苑』を見てみると、「風」の語義は、第一義の「空気の流れ。気流。特に、肌で感じるもの」のほか、「なりゆき。形勢。風向き」「ならわし。風習」など、いくつかに分かれるが、その一つに「風の病」がある。

風の病とは、「①邪気にあたって受けるという病気。②神経系統の病気、すなわち頭痛・骨節疼痛などの俗称。③感冒」である。

漢和辞典『字源』の「風」の項には、<〇手足、又身体の一部がしびれて自由ならざる病。「中一」「大一」〇かぜひき(感冒)「一邪」>とある。

おわかりのように、痛風の「風」は、中風や風邪の「風」と同じように「病気」のこと(骨の関節が痛む病気という意味)で、空気の「風」とは関係ない。

しかし、痛風治療でも名医として知られる人(西岡久寿樹先生は、東京女子医大教授、聖マリアンナ医大教授・難病治療センター長を経て、現在は東京医大医学総合研究所所長)でさえ誤用するほど、「風が当たるだけでも痛い」説は一般に定着している。

じゃ、風が当たらなければ痛くないのか、と突っ込みたくなるが、風にも当てないようにそっとしていても激烈に痛むのが痛風発作である。

痛風のもとには血液中に尿酸という物質がふえる「高尿酸血症」。ふえ過ぎた尿酸が主に足の親指(血流の末端で体温が低い)の関節内に結晶をつくり、炎症が生じ、激痛発作が起こる。

丸山寛之のプロフィール

医療ジャーナリスト。NPO法人日本医学ジャーナリスト協会会員。1932年、鹿児島県生まれ。新聞記者、医学雑誌編集者を経て医療ライター。1960年代初めから面接取材した医師・医学者は優に1000名を超える。著書=「がんはいい病気」(マキノ出版)「読むサプリ」(明拓出版)「この酔狂な医者たち」(草思社)「ビジネスマン元気術」(日本マンパワー出版)など。雑誌「壮快」に「名医に聞く」連載中。Webサイトに「健康1日1話」<http://www.maru-san.info/> を開設している。



尿酸の正常値は血液1㏄あたり7ミルigram以下、7以上だと高尿酸血症と診断され、9を超えると尿酸値を下げる薬が処方される。

高尿酸血症の原因は、尿酸が体内で過剰に作られるか、または、体外への排出が滞るため。

尿酸は、細胞の中の核酸や、体のエネルギー源となる物質(ATP)などに含まれるプリン体が、分解されてできる。

動物はみなプリン体をもっているし、植物の中にもプリン体はある。だからプリン体の多い食物(レバー、マイワシ干物、イサキ白子、干しシイタケなど)をどっさり食べると、尿酸値が上がる。

だがそういう食物を一切シャットアウトしても、尿酸値は1ぐらいいか下らない。体の中で作られる尿酸の量のほうがずっと多いからだ。要は、これはいけな、あれはいけな、と神経質に制限するのではなく、食べ過ぎないようにすればよい。

酒の飲み過ぎも禁物。アルコールには尿酸値を上げる作用があるからだ。

日本酒なら1合、ビールなら500ミルigram1缶、ウイスキーならダブル1杯まで。

そして、水を飲むこと。尿の量がへると、尿酸の排出が低下する。1日2リットルは飲もう。

激しい運動(乳酸が多くつくられ、尿酸の排出を抑制する)は避け、ウォーキングのような軽い運動を日常の習慣にする。

ストレスの解消も大切。ストレスがかかるとアドレナリンなどの“ストレスホルモン”が出て尿酸値を上げる。

以上のセルフケアをきちんと行えば、痛風は防げる。痛風は「明るい病気」である。

